

「環境先進都市・京都の更なる進化に向けた今後のごみ減量施策 骨子(案)」  
に関する市民意見募集の実施結果について

1 市民意見募集結果の概要

(1) 募集期間

平成26年10月24日(金)～11月23日(日・祝)

(2) 御意見数

意見を頂いた方の数 240名, 意見の総数 505件

(3) 御意見を頂いた方の属性

ア 住所

京都市	京都市以外	不明
163	29	48

イ 年齢

20歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不明
33	48	27	27	25	16	4	1	59

ウ 性別

男性	女性	不明
74	132	34

(4) 意見募集リーフレットの配架先等

市政案内所, 情報公開コーナー, 区役所・支所のエコまちステーション, 大学  
コンソーシアム京都等に配架したほか, ホームページに掲載

## 2 御意見の内訳

	項目	意見数
1	ごみ減量施策全般について 〔新たなごみ減量施策の意義・必要性, 新たなごみ減量施策の概要, 周知啓発・指導, PRの在り方等〕	136件
2	2R※の促進について ※ ごみの発生抑制（リデュース）及び再利用（リユース）	165件
	○ 2R促進の意義・必要性及び2R促進策の概要について ○ 2R促進策について ・ レジ袋の削減 ・ 食品ロスの削減 ・ その他（使い捨て製品の使用抑制, 事業者による2Rの取組の進ちょく確認等）	40件 125件 48件 20件 57件
3	分別の促進について	186件
	○ 意義・必要性について ○ 分別促進策について ・ 義務化, 啓発指導 ・ 開封調査 ・ 分別機会の拡大 ・ 雑がみの分別 ・ その他（若年層の教育, 働きかけ等）	15件 171件 26件 40件 30件 23件 52件
4	その他	18件
合 計		505件

## 3 御意見の要旨と本市の考え方（別紙のとおり）

### 4 条例改正及び新たな「ごみ半減プラン」の策定等に当たり特に留意すべき御意見 （別紙下線実線部参照）

- ごみを出さない買い物や食事を呼びかけるPRなどの2R促進策については、事業者の負担を考慮し、市が周知啓発・指導・支援等を行ってほしい。  
同じ業種でも規模・業態・サービスが多様であるため、取組に幅を持たせるなどの柔軟な運用が必要である。（6ページ）
- 事業者報告制度については、従業員の少ない事業者も多いため、報告内容や様式において、負担の軽減を図る必要がある。（10ページ）
- 事業者の報告内容やモニター結果の公表においては、基準の客観性・公平性や、ブランドイメージへの影響を考慮する必要がある。（10ページ）
- 市民モニター制度については、市が主体となって客観的・中立的に行うべきである。（12ページ）
- ごみ袋の開封調査や分別の指導に当たっては、心身の理由等から分別ルールに詳しくない方や分別が困難な方への配慮が必要である。（15ページ）
- 可能な限りごみ袋の開封調査を実施しなくてもよいよう、分別ルールの周知徹底に努めるべきである。（15ページ）